

知って備える防災メモ

第73回



雪による事故を防ぐ

市街地の雪による事故の多くは、屋根からの雪下ろしや除雪の最中に発生しています。作業をする際は、十分に注意しながら行いましょう。

一人で作業しない

屋根に上がるときは、命綱をつけてヘルメットをかぶり、滑らない靴を履きましょう。

また、一人の時に事故が発生した場合、発見されるまで時間がかかり、救助が遅れてしまうことがあります。家族や隣近所などに声をかけて一緒に作業を行ったり、見守りをお願いしましょう。

暖かい日は要注意

気温が上がった日は、屋根に積もった雪が突然落ちてくる場合があります。



ます。降り積もったばかりの柔らかい雪も注意が必要です。

作業をする時は落雪の危険がないか確認するなど、周囲の状況をよく見ましょう。

無理な作業をしない

雪かきや雪下ろしは重労働です。自分の体力を過信せず、体調と相談しながら作業をしましょう。疲れたときはこまめに休み、無理に続けないようにしましょう。

除雪機での作業は慎重に

使い慣れていても油断は禁物です。巻き込み事故を防ぐため、機械に詰まった雪を取り除くときは必ずエンジンを停止させましょう。

また、後進時に転倒して除雪機に引かれる事故も発生しています。レバーを固定するなどの改造は絶対にしてはいけません。

▼問い合わせ
総務グループ (☎85 1 1 3 0)

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

クッキーズ

クッキーズは、約30年前、同じ幼稚園に子どもを通わせていたお母さんたちが親睦を深めるために発足したミニバレーサークルです。

現在のメンバーは、市内に住む50代から80代までの女性12人。毎週木曜日の10時から12時まで総合体育館で、汗を流しています。

「大会に出場したりせずに楽しむことを第一に活動しています。良いプレーはみんなでほめ合い、失敗したときにはみんなですべて笑ってねぎらいます。だからメンバーには、いつも笑いが溢れています」と話すのは代表の佐野暎子さん。



ミニバレーで楽しく仲良く健康に



▲和気あいあいとした雰囲気で行うメンバー

「大会に出場したりせずに楽しむことを第一に活動しています。良いプレーはみんなでほめ合い、失敗したときにはみんなですべて笑ってねぎらいます。だからメンバーには、いつも笑いが溢れています」と話すのは代表の佐野暎子さん。

「ミニバレーはルールも難しくないので、メンバーの中には、お子さんやお孫さんを連れてきて一緒に楽しむ方もいます。いろいろな運動で、健康にも良いし、日ごろのストレス解消にもなりますよ」と笑顔を見せてくれたのは、発足当初から参加している佐藤佳子さん。

若い方も大歓迎の同サークルに興味のある方は、佐野さん (☎85 5 2 1 4) まで。